



choshi
お知らせ
news

新1年生へ 健康診断を受けましょう

問 学校教育課 ☎(24) 8197

時間は各日の午後。後日各学校から対象となるお子さんの保護者へお知らせします。

▶対象 平成**31**年**4**月**2**日～令和**2**年**4**月**1**日
生まれのお子さん

日程	小学校名
9月 29日(月)	海上
30日(火)	春日
10月 1日(水)	本城
3日(金)	豊里
7日(火)	明神
9日(木)	高神
16日(木)	清水・飯沼
20日(月)	船木・椎柴
23日(木)	双葉



choshi
お知らせ
news

あなたも対象です! 国勢調査にご協力を



問 企画室 ☎(24) 8930

令和7年10月1日を基準日として、5年に1度の国勢調査が行われます。日本に住むすべての人と世帯が対象の最も重要な統計調査です。9月から10月にかけて調査員が全世帯を訪問します。必ずご回答ください。

▶インターネット回答期間 9月20日(土)～10月8日(水)
▶調査票紙による回答期間 10月1日(水)～10月8日(水)



＼防災の備え／



市長コラム115

【津波避難】

銚子市長 越川 信一

銚子市では、7月30日に発生したロシア・カムチャツカ半島付近を震源とする地震により30cmの津波を観測した。午前9時40分の津波警報発表を受け、市内海岸付近に「避難指示」を発令。銚子マリーナ海水浴場ではライフセーバーの誘導で海水浴客が迅速に避難したが、名洗町の地元サーファーには情報が届かず、銚子警察署や消防本部が避難を呼びかけた。

市内に10か所の避難所を開設。正午のピーク時には531人が避難し、高神小では千葉科学大学の留学生など406人が避難したため、過密となる時間帯も。夕刻には空調設備の整った市民センター・体育館へ避難所を集約。市民センターでは32人の市民が一夜を明かした。

8月8日、海水浴シーズ

ンの津波を想定した津波避難訓練を銚子マリーナ海水浴場で実施した。千葉科学大学・DRR災害初動研究会や関係機関の協力のもと、海水浴客やライフセーバーなど100人が参加。午前10時、防災行政無線で緊急地震速報・大津波警報が放送されると、ライフセーバーが津波フラッグを大きく振って、拡声器で避難の呼びかけ。銚子市消防本部が導入したドローンのスピーカーアナウンスも加えて誘導し、千葉科学大学の危機管理学部棟への避難を完了した。

ドローンからの明瞭な音声で、避難誘導に効果を発揮した。千葉科学大学の五十嵐仁・危機管理室長（緊急事態管理学）は、「災害時における公助は必然的に遅れるため、自助・共助が極めて重要。最後部を確認しながら、声をかけ合って避難して欲しい。自分と家族を守るため、飲物や日傘を入れた持出バッグを日頃から用意しておくことが大切」と講評。今回の津波と津波避難訓練を検証し、自助・共助・公助のバランスがとれた備えを強化していきたい。